

●入湯者の心身癒やす

百済伝説が残る南郷村。百済王族を隠すかのように、山里を一年の半分は神秘的な朝霧が覆う。伝説の湯は百済王族が祭られる杜（もり）から、同王族を迎える祭りである「師走まつり・上りまし」の日にわき出た。その日はこの山里特有の深い霧に包まれていたという。温泉はこのことにちなんで「山霧」と命名された。

「百済王族からの贈り物」をキャッチフレーズに一九九八（平成十）年九月、南郷温泉「山霧」がオープンした。近隣市町村に先駆けて開いた本格的温泉は、瓦ぶきの屋根に「むくり」といわれる緩やかなアーチを施すことにより、百済の里のイメージにふさわしい心安らぐ温泉施設となった。

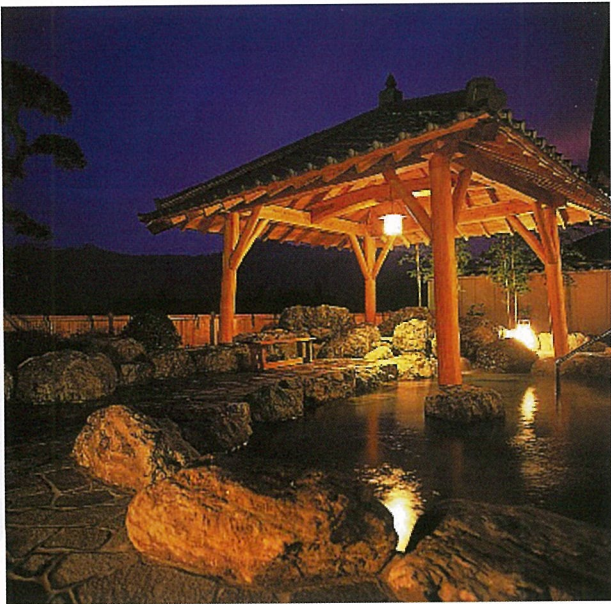
源泉は百済王族を祭る神門神社の西側、地下千五百メートル。泉質はナトリウム炭酸水素塩のアルカリ泉で、特に美肌効果に優れている。入湯者

の評判もいい。

施設に足を踏み入れると、村産材ヒノキを使用した重厚な化粧はりと、十畳はあるうかと思える天井の吹き抜けが、圧倒的な迫力で利用者を迎え入れる。床暖房が施されている廊下を奥へ進むと、左右に男女浴場。男子浴場が「山の湯」、女子浴場が「霧の湯」と名付けられ、それぞれに大風呂、葉湯風呂、サウナ風呂、露天風呂がある。

このほか個室風呂も完備、利用客が十分に満足できるよう気配りが行き届いている。特に人氣は露天風呂からの景色。昼は奥深く、緑に染まる美しい山々、夜は光輝く星空など、南郷村の素晴らしい自然が満喫でき、入湯者を心身ともに癒やしの空間へ誘ってくれる。

また、多くの地場産品を販売、「食の健康拠点施設」ともなっている。地元米をはじめ、こん



露天風呂「霧の湯」。ここからの景色は絶景

にやく料理や「百済王キムチ」など、特産品開発にも力を入れ、利用者に地産地消による健康で安全な食品を提供するシステムづくりに努力している。

館内には食事どころ「山霧茶屋」をはじめ、個室休憩室があり、気軽に食事を楽しめる。さらに、敷地内には地元農家が生産した新鮮野菜類を即売する施設も整備され、生産者と消費者の交流の場となっている。

オープン以来、「お肌すべすべ」の泉質の良さと充実した施設が評判となり、利用者も多い。村外からのリピーターの数も増えており、百済の里づくりの中核として欠かせない存在となっている。

国延明夫